

95 いわつかじょうあと 岩塚城趾

尾張守護斯波氏の一族吉田重氏の築城と伝わる。斯波氏滅亡後、重氏の子守氏、孫元氏の居城となった。元氏は永禄11年(1568)信長の伊勢国大河内城攻めで討死し、元氏の子九郎左衛門は織田信雄に仕えた。現在は、遍慶寺があり、寺の前に「岩塚城趾」の石碑が建っている。

関係武将等 吉田守氏(よしだもりうじ)、吉田元氏(よしだもとうじ)

住所 名古屋市中村区岩塚町郷中62(遍慶寺)

アクセス 地下鉄名城線「岩塚駅」より市バス「城前」停、西へ400m、徒歩約5分。

目印等 佐屋街道庄内川堤防の東130mを南へ100m遍慶寺内にある。

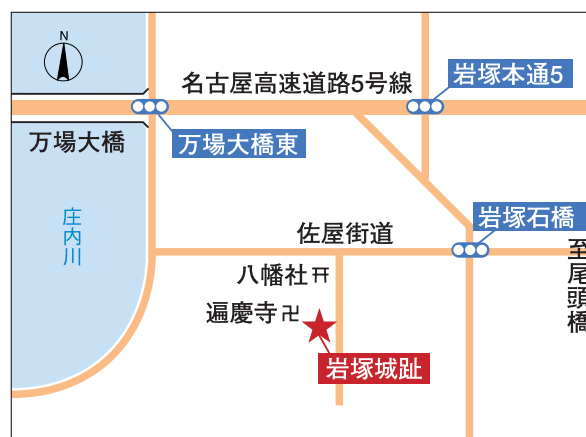
入場料 無料

トイレ なし

駐車場 なし

休業日 なし

お問い合わせ なし



👍 お祭り・行事

七所社きねこさ祭 旧暦の1月17日

尾張三大奇祭の一つで名古屋市無形民俗文化財。厄除け・子孫繁栄・五穀豊穡などを祈念して行われる。「きねこさ祭」の名前は、祭具のきね(立杵)とこさ(杵からこそぎ落とした餅の意)に由来する。役者と呼ばれる12人の氏子が下帯姿で庄内川に入り、川の中程に笹竹を立てて一人が登り、竹の折れた方角でその年の吉凶を占う(川祭り)。その後、古式行列を経て神社で神事が行われ、その際、役者の持つ祭具に触れると厄除けができると伝えられている。

戦国寄り道クイズ

Q95. 岩塚宿は佐屋街道の宿場。岩塚宿と二宿で一宿の役割を果たした宿場は?

イ. 百場宿

ロ. 千場宿

ハ. 万場宿